



もうすぐ節分となる 2 月を迎えましたね。

厳しい冬も終わりに近づき園内には小さな梅の花が咲こうとしております。

巡る画像

近年は撮影した画像を SNS に投稿したくさんの人と共有される方が多いですね。

私も経験がある事なのですが、最近の出来事です。

私的に知り合って 10 年来のワンちゃんのご葬儀を行いました。

前日からの予定から早朝ご自宅へお迎えした時ご家族は広く延ばされたワンちゃんの画像を手にされております。

見慣れた可愛い顔の画像について御主人に自分で撮影されたのかと尋ねましたら、数週間前にインターネット上で犬の画像集を閲覧した時に・・・どこかで見た姿が・・・何とご自宅のワンちゃんがネット上にアップロードされていたのを偶然見つけました。公園でたたずむ姿はご主人も思い当たりがあり、

1 年くらい前に散歩の途中に顔見知りの方に撮影してもらったそうです。

その後、撮影した方がご自分の SNS に上げ、画像が巡り巡って戻ってきたのです。

ご家族は嬉しさのあまり画像を出力し写真化しました。

良く晴れた公園を背景にした写真を遺影に、ご家族はワンちゃんをお送りしました。



この春 16 才を迎えようとした当霊園挨拶担当猫の「ソラ」が 1 月 5 日未明にその生涯を終えました。

様々な形で来園された方に挨拶をしに本堂や構内に出てこれまで多くの方々にご愛がって頂きました。

飼い主として皆様に厚く御礼申し上げます。

ソラは生後 3 カ月で同じく生まれた 2 匹の兄妹と共に 3 匹で霊園に来ました。

生まれる時は母猫の飼い主さんの手で 3 匹とも取り上げてもらい、

歯は生えるまで大事にされてその後は人間との関わりが深い生活となります。

生後 1 年間で兄妹猫を事故で亡くしましたが、他に居た霊園の

飼い猫とも仲良くして寂しくはなかったみたいです。

時が経つに連れ霊園の猫達は寿命を迎え続け 2 年前には一匹だけのソラになりました。

ここ 1 ヶ月の間に見た目はめっきり歳を取った感じになり体格も小さくなりましたが、人の前でする行動は

仔猫時代に戻った様な事をしており、元来からの甘えん坊は死ぬ 2 日前まで寒空の下、

回廊で丸くなり来園される方をお招きしておりました。

死ぬ前日は座布団を敷いた空のミカン箱の中でソラは赤ちゃんに戻りました。寝ているのか、起きているのか分かりませんが時々喋る様な鳴き声には私は一日中返事を繰り返しておりました。

当日早朝、最後の寝床となったミカン箱と共の火葬を行い、お骨は「特別共同墓地」に納めました。

ソラとご縁のありました皆様、来園なさった時に思い出して頂けたら幸いです。

